

あとがき

5月の連休です。週明けに新潟で行われる日本耳鼻咽喉科学会の準備に追われながら、このあとがきを書いています。私の担当は最終日午後のシンポジウム「舌口腔癌治療の最前線」です。日本耳鼻咽喉科学会学術講演会の参加者数は年々増加し、最近では5,000人前後と日本耳鼻咽喉科学会員の半数近くが参加されるようになりました。頭頸部癌学会と違って、聴衆の多くは専門外の先生になりますので、できるだけ解りやすくなるように心がけてスライドを作っています。ところで、学会の書籍売り場で、もう見かけられた先生もおられるかと思いますが、本年度の本誌増刊号「最新の診療 NAVI—日常診療必携」が発行されました。こどもの診療、難聴、めまい、音声・嚥下・睡眠、麻痺と痛み、外傷、炎症・感染、嚢胞性疾患、腫瘍性疾患、アレルギー性疾患、好酸球関連疾患など日常遭遇するさまざまな耳鼻咽喉科領域の疾患に加え、最近話題のIgG4関連疾患など新たな概念の疾患も取り上げています。専門医を目指す若い先生の試験勉強にはもちろんのこと、基幹病院にお勤めの先生や開業の先生のブラッシュ・アップにも最適な一冊に仕上がったと思っています。診察室の机の上に一冊、ぜひご用意ください。

さて、本号の特集は「耳鼻咽喉科手術におけるナビゲーションとモニタリング」です。友田先生も書かれているように手術用ナビゲーションが全国に普及し、ドライブにカーナビゲーションが必須なのと同様、今では鼻副鼻腔や頭蓋底の手術には欠かせない手術支援機器となりました。一方、神経のモニタリングもなくてはならない手術支援機器の一つです。とりわけ、私のように毎回若い医師たちを指導するものとしては、神経刺激装置なしでは怖くて手術ができません。本特集では友田先生の総論に続き、九州大学の松本先生に耳の手術、慈恵医科大学の鴻先生に鼻・副鼻腔の手術におけるナビゲーションについて、大阪医科大学の河田先生に耳下腺手術における顔面神経、防衛医科大学の荒木先生に反回神経のモニタリングについて解説していただいています。

「目でみる耳鼻咽喉科」は市村恵一先生による「鼻出血を起こす血管病変」です。オスラー病をはじめ、鑑別が難しい鼻出血の原因となる疾患の貴重な鼻腔写真の数々をご提供いただきました。原著論文も喉頭悪性線維性組織球症（市瀬論文）、上顎腺様嚢腫（平賀論文）、幼児髄膜瘤（天津論文）、成人Still病（木村論文）と貴重な症例報告が揃っています。ぜひ、ご一読ください。

（丹生健一）

編集顧問

佐々木 好 久
曾 田 豊 二
坂 井 真
竹 中 洋
八 木 聡 明

編集委員

吉 原 俊 雄
小 川 郁
丹 生 健 一

耳鼻咽喉科・頭頸部外科（第84巻 第6号）

2012年5月20日発行（毎月1回20日発行）

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

定価 2,730 円（本体 2,600 円＋税 5%）

〔2012年年間購読料（増刊号を含む13冊、税・送料込）〕
冊子版/通常 41,160 円 冊子版/個人特別割引 38,430 円
電子版/共有 47,400 円 電子版/個人特別割引 38,430 円
冊子＋電子版/共有 52,400 円
冊子＋電子版/個人特別割引 43,430 円

・医学書院ホームページ（インターネット）は

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/> です。

・「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」のページは

<http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jikotokei/> です。

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5710（担当 西塚・安部）

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802（編集室）

E-mail: jikotokei@igaku-shoin.co.jp

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (株)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2012, Printed in Japan

・本誌に掲載された著作物の複製・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信（送信可能化権を含む）に関する許諾権は医学書院が保有しています。

・本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・**JCOPY** <（社）出版者著作権管理機構 委託出版物>

・本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、（社）出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。